横浜商大 同窓会会報

第54号
[発行]
横浜商科大学
同窓会
TEL・FAX 045-583-9031
http://www.shodai-ob.com/
[制作・印刷]
(株)バドインターナショナル
TEL 03-6857-0810

新理事長より ご挨拶

吉原　毅

横浜商科大学の同窓会員の皆様、本年1月より本学の理事長を拝命いたしました吉原毅でございます。

私の父は横浜市綱島の農家出身で、横浜の商業専門学校を卒業して横浜市内の貿易会社に丁稚として働いていました。父から当時の思い出話を聞きながら、子どものころから異国情緒にあふれた横浜に強いあこがれと愛着を感じておりました。このたび横浜商科大学とのご縁をいただきましたこと、大変うれしく存じております。微力ながら本学のために全力を尽くす覚悟でございます。

さて、私学で最も大切なものは、建学の精神です。私も理事長を拝命して、まず創立者の松本武雄先生について、卒業生の皆さんなど多くの方にお話を伺いました。松本先生は誰に対しても思いやりをもち、心配りを忘れない優しい方で大変な人格者であったことを知り、とても嬉しく思いました。そして先生が大切にされた「安んじて事を托さるる人となれ」というお言葉について一所懸命に考えました。その中で「事を託す」という言葉にふと目がとまりました。

私は「信託」の仕事をしているため、「任せる」ことと「托す」こととは、全く異なるということを教えられました。「任せる」とは配下の者に「言われたとおり、決められたことをやってもらうこと」ですが、「托す」とは、「私にはどうしたらよいかわからないので、信頼できる貴方にすべてを任せます」という意味です。つまり、「事を託さるる人となる」とは、「困っている人々を救うため、誠心誠意人のために尽くす立派な人となれ」という意味になります。これは大変なことです。松本先生は我々に「誰からも信頼され、頼られるような立派なリーダーになれ」と激励されていたのです。

それでは、リーダーとして最も大切なことは何なのでしょうか。松本先生は、それを本学の校歌の1番に示してくださっています。それは、「人の世の幸いのため、頼まれる人となれ」です。本学の建学の精神は、「人の世の幸いのため」に「安んじて事を託さるる人となる」ことだったのです。

私は、このことを知った時に大変驚き、また感動しました。「人の世の幸いのために尽くす」という考えは、なんと崇高で素晴らしい考えなのでしょう。現代社会は、政治家や大企業の経営者など、社会のリーダーと言われる人も、自分の損得ばかり考える人が多いように思います。しかし松本先生は、「商業」にとって最も大切なことは、自分の利益の追求ではなく、世のため人のために尽くすことであると考えておられ、さらに正しい商業を通じて、世界全体が平和になることを強く願われていたのです。

私は、東大、京大など、多くの日本の大学の校歌を調べてみましたが、どの大学の校歌も、本学は素晴らしいという自画自賛の内容であり、「人の世の幸いにつくす」という崇高な奉仕の精神は1つもありませんでした。本学の建学の精神は、大学の中でも特色のある素晴らしいものです。

松本先生は、「商学とは、私利私欲のビジネスのための学問ではなく、世のため人のため、人々の幸せと世界の平和のためにある」という高い理想をもっていらっしゃいました。それが、本学の「商学」が目指すものであり、他大学の「商学」と決定的に違うところです。

私は、こうした素晴らしい建学の精神のもとに、学生の皆さんが、充実した大学生活を送られ、幅広い見識と立派な人格を備えた人として成長され、やがて各界において、頼まれる、褒められる、招かれるリーダーとなり、困っている人々、苦しんでいる人々を救う世の光として、ご活躍されることを心から願っています。どうか同窓会の皆様には、我々に対しまして、変わらぬご指導とご鞭撻、ご支援とご協力を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

ご挨拶

同窓会　会長
山﨑　好美

日頃より同窓会活動にご理解ご協力を賜りありがとうございます。

このところ毎年のように酷暑であったり、大雨であったりと異常気象が続いています。皆様におかれましてはいかがお過ごしでしょうか。

昨年、第49回定期総会開催のおり、次回は創立50周年となり記念式典を考えていますと報告させていただきましたが、諸般の事情により一年後ろ倒しとなりました。

今年度は、通常の定期総会となります。会場は大学内での開催となり、当日は大学祭(飯山祭)が開催されていますので、是非会員の皆様には足を運んでいただきたいと思います。

活動状況については、3月15日に学位記授与式に出席し育友会・同窓会よりの記念品を贈呈しました。

卒業生は324名です(内訳は商学科182名、観光マネジメント学科49名、経営情報学科93名)。これにより、卒業生総数は、23,009名となりました。

支部活動については、各支部総会が開催されています。また、久しぶりに新たな支部が誕生しました。支部の誕生は十数年ぶりです。今後の活動に大いに期待しましょう。

一方、母校に目を向けてみますと、昨年12月に清水理事長が退任表明をされ、令和7年1月1日付で吉原理事が理事長に就任されました。

3月になりますと、日本高等教育評価機構より、同機構が定める評価基準に適合しているとして「認定」されました。

3月15日には、令和6年度学位記授与式が開催されました。4月3日には、入学式が横浜みなとみらいホール大ホールにて開催されました。当日はあいにくの雨模様でしたが、322名の新入生(内訳は商学科182名・観光マネジメント学科53名・経営情報学科スポーツマネジメント63名情報マネジメント22名)。それに編入生2名・大学院生2名を加えた326名が希望に胸を膨らませて商大の門をくぐりました。

それに先立ち、2日に大学特待生・同窓会奨学生13名に対して、表彰状が授与されました。

九州地方や日本海側東北地方では線状降水帯が発生し大きな被害が出ています。被害にあわれた方々にたいして心よりお見舞い申し上げます。

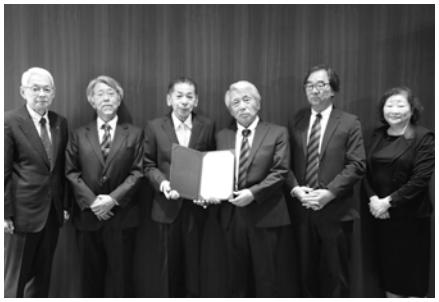
第50回定期総会は、11月1日(土)母校商大で開催します。

錦秋の時季ではありますが、会員の皆様とお会いできるのを楽しみにしております。

名誉教授称号授与

本学卒業生である前教授　佐藤義文氏に対して、名誉教授称号が授与されました。同窓生として、この上ない喜びです。佐藤先生のご専門は、租税法です。在職中は、職業会計人を目指す学生を積極的に支援され、税理士試験の簿記論・財務諸表論の科目合格者を多数輩出されました。

4月から大学院も新設され、『実行型実践教育』の旗手となる学生が増えてくることを期待しています。



9月13日(土)商大応接室にて、草壁常務理事・小島学部長・貫洞事務局長・山崎同窓会会長 列席のもと、羽田学長より授与されました。

第16回支部長会議

例年の通り、総会の前に午後2時より支部長会議が開催されました。静岡支部を東海支部(静岡・愛知・岐阜・三重の4県合同)設立の件、最終検討の結果、全支部長賛成で理事会に上程することになりました。

令和6年度 学位記 授与式

2025年3月15日(土)13時より
横浜商科大学 鶴見キャンパスにて

令和6年度卒業生324名は、私達が経験したことのないコロナ禍という時代に大学生々活のほとんどを奪われてしまいました。そんな時代をたくましく乗り越え、商大を巣立っていった324名の全てに"おめでとう"とエールを贈ります。

学位記 授与

商学科	182名
観光マネジメント学科	49名
経営情報学科	93名

育友会・同窓会より記念品
として名刺入れを贈呈しました。

懐かしい母校の
体育館で厳かに
行われました。

卒業パーティー

実行委員会の素晴らしい企画でパーティーは大盛況でした。

第49回定期総会のご報告

2024年11月16日(土)新横浜グレイスホテルにて定期総会・懇親会が開催されました。

一期生の方も数名出席され、若い方と和気あいあい楽しそうにお酒を酌み交わしていました。

羽田学長の祝辞。

乾杯の音頭をとる小島学部長。

挨拶をする山崎同窓会会長。

2023年度　収支計算書

自：2023年10月 1日
至：2024年 9月30日

収 入 の 部　　単位：円

科　　目	予算額	決算額	差　異
Ⅰ　会費収入	14,400,000	12,995,000	― 1,405,000
1. 同 窓 会 費	14,400,000	12,995,000	―1,405,000
Ⅱ　事業収入	0	0	0
1. 総 会 会 費	0	0	0
Ⅲ　資産運用収入	1,000	1,655	655
1. 預貯金等利息	1,000	1,655	655
Ⅳ　雑収入	720,000	920,000	200,000
1. その他(寄付金)	0	0	0
2. 育友会受託費	720,000	720,000	0
3. 育友会より総会お祝い金		200,000	200,000
当期収入合計 (A)	15,121,000	13,916,655	― 1,204,345
前期繰越収支差額	65,363,186	65,363,186	0
収入合計 (B)	80,484,186	79,279,841	― 1,204,345

支 出 の 部　　単位：円

科　　目	予算額	決算額	差　異
Ⅰ　事業費	3,000,000	2,260,434	-739,566
1. 機関紙印刷費	700,000	536,480	―163,520
2. 総会費	2,300,000	1,723,954	― 576,046
Ⅱ　準会員支援金	4,450,000	3,847,630	-602,370
1. 卒業記念事業費	1,000,000	1,000,000	0
2. 大　会　他	200,000	170,000	― 30,000
3. 新入生・卒業生記念品	900,000	913,500	13,500
4. 同窓会奨学金	1,200,000	1,200,000	0
5. 援助金（大学祭）	500,000	500,000	0
6. 育英奨学金（有資格者）	500,000	0	― 500,000
7. 在学生支援金	150,000	64,130	― 85,870
Ⅲ　組織強化費	3,010,000	2,895,098	-136,550
1. 支部支援金	1,650,000	1,519,144	― 130,856
2. 支部設立援助金	100,000	0	― 100,000
3. 通　信　費	1,100,000	1,174,937	74,937
4. H.P 制作維持費	160,000	179,369	19,369
Ⅳ　管理費	4,250,000	3,541,303	-708,697
1. 会議運営費	700,000	504,616	― 195,384
2. 旅費交通費	1,000,000	472,190	― 527,810
3. 慶　弔　費	150,000	117,741	― 32,259
4. 消耗品費	100,000	165,012	65,012
5. 人　件　費	2,000,000	2,203,964	203,964
6. 雑　　費	100,000	77,780	― 22,220
7. 予　備　費	200,000	0	― 200,000
当期支出合計 (C)	14,710,000	12,522,817	-2,187,183
当期収支差額 (A) ― (C)	411,000	1,393,838	982,838
次期繰越収支差額 (B) ― (C)	65,774,186	66,757,024	982,838

2023年度　事業報告

（自：2023年10月1日　至：2024年9月30日）

1．定期総会

2022年度定期総会（第48回）開催……2023年11月4日
於：横浜商科大学つるみキャンパス

2．同窓会報、ホームページ等による情報発信

ホームページの随時更新
同窓会会報第52号発行……2023年10月12日

3．本部・支部及び各支部間の連携強化

（会員増強のための情報提供）
【役員会】
2023年 10月21日 第181回役員会開催
2024年 1月27日 第182回役員会開催
4月20日 第183回役員会開催
【支部総会】
2023年11月16日 不動産支部総会開催
12月 2日 関西支部総会開催
大学･本部役員出席
2024年 3月23日 韓国支部総会開催
3月24日 剣道部支部総会開催
6月 7日 教員支部総会開催
6月23日 静岡支部総会開催
大学･本部役員出席
【支部長会議】
2023年 11月4日 第15回支部長会議開催
本部役員出席

4．支部設立の推進

本年度は支部設立は無し

5．会員名簿の整理及び管理

個人情報の関係から名簿の発行予定はないが、メンテナンスとしてインターネット（ホームページ）Mail、Faxにて受付し、整理更新している。

6．本部総会、各支部総会への会員出席者向上

重要検討事項として次年度も継続する。

7．経費の節減

8．事業実績

2023年
10月12日　同窓会会報第52号発行
10月23日　第56回大学祭(飯山祭)へ支援
10月26日　第17回全日本学生剣道オープン大会出場支援
11月 4日　2022年度定期総会（第48回）開催

2024年
1月12日　卒業事業委員会へ支援
3月16日　学位記授与式　山崎会長出席
4月 1日　特待生･同窓会奨学生　認定式
山崎会長出席
4月 3日　入学式　山崎会長出席
6月 6日　奨学金贈呈（同窓会奨学生）前期
8月 9日　留学生課外活動支援
9月10日　奨学金贈呈（同窓会奨学生）後期
9月14日　秋季学位記授与式　山崎会長出席
女子学生対象に生理用品の随時補給

2024年度　収支予算書

自：2024年10月1日
至：2025年9月30日

収　入　の　部　　単位：円

科　　目	2024 年度 予算額	2023 年度（前年度）予算額
Ⅰ　会費収入	13,600,000	14,400,000
1.同窓会費	13,600,000	14,400,000
Ⅱ　事業収入	400,000	0
1.総会会費	400,000	0
Ⅲ　資産運用収入	1,000	1,000
1. 預貯金等利息	1,000	1,000
Ⅳ　雑収入	720,000	720,000
1.寄付金	0	0
2.育友会受託費	720,000	720,000
当期収入合計 (A)	14,721,000	15,121,000
前期繰越収支差額	66,757,024	65,363,186
収入合計 (B)	81,478,024	80,484,186

支　出　の　部　　単位：円

科　　目	2024 年度 予算額	2023 年度（前年度）予算額
Ⅰ　事業費	3,000,000	3,000,000
1. 機関紙印刷費	600,000	700,000
2. 総会費	2,400,000	2,300,000
Ⅱ　準会員支援金	4,650,000	4,450,000
1. 卒業記念事業費	1,000,000	1,000,000
2. 大　会　他	200,000	200,000
3. 新入生・卒業生記念品	1,150,000	900,000
4. 同窓会奨学金	1,200,000	1,200,000
5. 援助金（大学祭）	500,000	500,000
6. 育英奨学金（有資格者）	500,000	500,000
7. 在学生支援金	100,000	150,000
Ⅲ　組織強化費	3,080,000	3,010,000
1. 支部支援金	1,600,000	1,650,000
2. 支部設立援助金	100,000	100,000
3. 通　信　費	1,200,000	1,100,000
4.H.P 制作維持費	180,000	160,000
Ⅳ　管理費	3,900,000	4,250,000
1. 会議運営費	600,000	700,000
2. 旅費交通費	700,000	1,000,000
3. 慶　弔　費	150,000	150,000
4. 消耗品費	150,000	100,000
5. 人　件　費	2,100,000	2,000,000
6. 雑　費	100,000	100,000
7. 予　備　費	100,000	200,000
当期支出合計 (C)	14,630,000	14,710,000
当期収支差額 (A) － (C)	91,000	411,000
次期繰越収支差額 (B) － (C)	66,848,024	65,774,186

2023年度　貸借対照表

2024年9月30日　現在

単位：円

資産の部		負債及び正味財産の部	
科　目	金　額	科　目	金　額
1.現　金	261,804	1. 正味財産	69,257,024
2.普通預金	25,134,314		
3.定期預金	43,860,906		
資産合計	69,257,024	負債・正味財産合計	69,257,024

2024年度　事業計画書

自：2024年10月 1日
至：2025年 9月30日

1.定期総会の開催

2.同窓会報、ホームページ等による情報発信

3.本部・支部及び各支部間の連携強化　（会員増強のための情報提供）

4.支部設立の推進

5.会員名簿の整理及び管理

6.本部総会・各支部総会への会員出席者の向上

7.在学生への援助　（奨学金・課外活動等）

8.経費の節減

【支部及び支部長一覧】

都道府県支部	広島支部	**支部長**	風呂実雄(第10期)
	関西支部		林　永年(第10期)
	福島支部		斎藤晋一(第16期)
	新潟支部		吉井道代(第18期)
	群馬支部		鈴木清照(第 8期)
	宮城支部		小松　智(第 8期)
	四国支部		宇都宮吉彦(第11期)
	長野支部		西原日文(第 4期)
	韓国支部		尹　熙満(第36期)
	神奈川支部		竹田嘉夫(第11期)
	東海支部		山崎　成(第 4期)
運動・研究会関連支部	剣道部支部		柴崎雅治(第19期)
	ハンドボール部支部		滝上　徹(第 5期)
	経営情報システム　研究支部		滝口　猛(第10期)
	飯山会支部		[検　討　中]
職域支部	観光産業支部		杉原一光(第 2期)
	教員支部		岡本裕樹(第37期)
	会計人会支部		高崎洋一(第28期)
	不動産支部		田口順一(第26期)

神奈川支部設立

8月2日(土)発起人9名にて神奈川支部が設立されました。支部長(竹田嘉夫氏)より神奈川県在住、勤務の方を会員とし、楽しく交流と親交を深めていきたいと挨拶がありました。

(事務局：太田隆文氏
TEL：090-2485-0941)

静岡支部は「東海支部」として新しく生まれ変わりました。

静岡支部長 山﨑 成氏より会員集客について、近県をまとめたいとの相談があり、数回の検討を重ねた結果、静岡・愛知・岐阜・三重の4県をまとめて東海支部設立となりました。
令和7年9月15日(祭日)12時より、ホテルクラウンパレス浜松にて総会を開催いたしました。

支部総会報告

次の8支部で総会が開催されました。

★剣道部支部
令和7年7月5日(土)18時より
場所：横浜市中区「風見鶏」

★ハンドボール部支部
令和6年10月13日(日)
11時30分より
場所：御影藏(東京丸の内ビル)

★長野支部
令和6年10月26日(土)17時より
場所：ホテルJALシティ長野

★関西支部
令和6年12月7日(土)13時より
場所：リーガロイヤルホテル「リモネ」

★不動産支部
令和6年12月19日(土)18時より
場所：㈱マイカにて

★四国支部
令和7年1月25日(土)17時より
場所：三泰商事ビル3階

★教員支部
令和7年6月13日(金)17時より
場所：横浜商科大学
鶴見キャンパス

★群馬支部
令和7年7月5日(土)13時より
場所：高崎ワシントンホテル
プラザ12F「銀座」

支部総会 開催予定

支部総会は、往復ハガキでのご案内を取りやめ、今後はハガキ、QRコード、メール、FAXなどでの出欠確認に変更させていただきます。

【関西支部】
開催日：令和7年12月6日(日)
時間：午後1時(13時)
場所：リーガロイヤルホテル
備考：毎年12月第1週土曜日に開催

【長野支部】
開催日：令和7年10月初旬～中旬
場所：長野駅前
備考：2年に一度の開催

【群馬支部】
開催日：毎年7月第1土曜日

【韓国支部】
開催日：令和7年12月13日(日)
場所：韓国支部事務所

新会員紹介

後輩たちへ想うこと

2024年度 卒業
商学部 商学科 醍醐ゼミ1期生
（旧東風2期生）
中村　麻佑子

社会人になって数ヶ月、大学生活を振り返って思うことは大学での様々な経験から私はかなり成長したということ。授業のSA活動、教職課程の履修、オープンキャンパスや情報メディア課のスタッフ等。なかでもSA活動は、私の初めての「仕事」としてお給料が発生する責任が重大な役割だったので、特に印象深い。後輩たちの就学のサポートのために、自主的に勉強したり学生からの問い合わせや分からない事について調べるなど、私自身の成長にも繋がった。知識の習得はもちろんだが、それ以上に対人関係について学ぶことが多かった。

対人関係における大前提「世の中には色々なタイプの人間がいる」事を身を持って痛感したのもSA活動がきっかけである。クラスの学生たちには可能な限り平等に、公平に、いずれSAがいなくなっても問題なくなるように接することを心掛けていた。こちらからの情報発信はクラス全員が見られるグループLINEやClassroomを用いて全員が受け取れるようにした。一方で学生からの問い合わせやコミュニケーションに対しては誠実に、相手に必要なレベルで応えるようにした。関わっていくうちに学生だけでなく同じSAの仲間、職員さん、先生方それぞれのタイプを理解するようになる。例えばプライベートなことでも全て共有してくれる人もいれば、授業中に使うスマホやパソコンの画面を見られるのに抵抗を感じる人もいる。相手によって接し方を変えて、場合によっては必要以上に踏み込みすぎない事も学んだ。今はスーパーに就職をして研修を受けているが、大学生活で学んだ人の多様性や関わり方は仕事にも活きていると思う。スーパーでは、同期や先輩社員、上司、パートナーさん、お客様など様々な人と関わり合いながら仕事をする。店舗の中で他の人とのコミュニケーションの取り方を観察して、どのように接するのが相手にとって良いのかを考える。なるべくお互いが気持ちよく過ごせるように心掛けている。また、いつか教員になった時には必須のスキルなので鍛え続けていきたいとも思う。商大の後輩たちに伝えたい事としては、どんな経験が将来役に立つのか分からないからこそ、何にでも挑戦してみてほしいということだ。商大では学生をサポートする体制が充実している。せっかく学費やら何やらと毎年お金を払っているのだから最大限活用して、後悔のない学生生活を楽しんでほしい。

2024年度 卒業
商学部 経営情報学科 山本ゼミ
大友　俊幸

私はスポーツが好きでバスケットボールを小学生の頃からやっていました。

横浜商科大学ではスポーツに関わる様々な活動や経営などについて学びました。大学に入って1年間はコロナ禍の影響でオンライン授業でした。2年の秋頃からやっと対面授業となり大学に通える様になりました。授業で一番印象に残っていることはゼミの授業です。

ゼミの授業は少人数で議論や研究活動など行い仲間との交流を通して色々な経験が出来て新たな気づきを得ることが出来ました。教授との距離も近いのでとても聞きやすくて親身な指導を受けることが出来ました。

私は大学生になって初めてアルバイトをしました。とても良い経験となり人との関わり方など、社会人になる前の人生経験として凄く良かったと思います。視野が広がり自分に自信が持てる様になりました。

私は2025年4月から社会人になりました。社会人になって思うことは学生時代の様に自由な時間が少なくなり仕事中心の生活になりました。そしてプライベートの時間も仕事のスケジュールにあわせて調節して決めないとならなくなりました。

仕事をする上で自分の行動には責任を持って行うことが大事なのでプレッシャーを感じることもあります。でも、しっかりと覚えた仕事がうまく出来たときは達成感を感じ達成した仕事に対して意欲が増します。先輩たちとのコミュニケーションも仕事をする上ではとても大事で人間関係の必要性を学んでいます。そのためにはまず、誰に対しても気持ちの良い元気な挨拶をすることでコミュニケーションを取りやすくなり気持ち良く仕事に取り掛かれます。

これからもっと仕事を覚えて早く一人前になれるように頑張りたいと思っています。後輩の皆さま、大学生活は今しかありません。一日一日を大切にして充実した大学生活を送って下さい。やりたい事があったら学生のうちにやっておくといいと思います。

2024年度 卒業
観光マネジメント学科 秋山ゼミ
橘　大輔

【1】大学時代の思い出

横浜商科大学では四年間沢山の事を学びました。入学当初はまだコロナ禍であったため、ほとんどの授業がオンラインでした。今思えば懐かしいですが、当時は学校にもっと通いたいと感じていました。オンライン授業のため最低限しか学校に通えませんでしたが、その分たまにある対面授業はとても楽しくて印象に残っています。そんな中で、私が大学時代の思い出として特に印象に残っているのは大きく分けて三つあります。

まず一つ目は、部活動です。一年生からバスケットボール部に所属し、約四年間取り組みました。コロナ禍であったため活動は週に二回と多くはありませんでしたが、唯一学校に行くことが出来る嬉しい機会でもありました。また、最初はかなり人も少なくてあまり活発な部活ではなかったけれど、徐々に後輩も入ってきて部員が増えたことにより、少しずつ活発な部活に変わっていきました。公式戦には私たちの代では出場できませんでしたが、より実践的な練習を始め、練習試合などは行っていました。今の後輩たちが公式戦に出場している姿を見ると、きっかけ作りぐらいにはなれたのかなと思うと非常に嬉しく思います。

そして二つ目は就職活動です。始めた時期は三年の夏頃と若干早めではありましたが、そのおかげで今があると思っています。大学に入った時は、ホテル関係の仕事に就きたいと考えていたので、三年の夏に大学の紹介で箱根の「ホテルおかだ」に二週間インターンに行きました。実際に現場で働いてみてやりがいは感じましたし、その二週間で社会に出て働くとはどういう事かを学ぶことが出来ました。そして自分のやりたいことが明確になりホテル業界ではなく新しい道が見えてたのです。その後は大学のキャリアセンターに通って、沢山の方々からサポートして頂き、無事早期選考で入りたい会社に内定をいただくことが出来ました。この期間で新しい考え方や知識を得て、人として大きく変わった出来事だと感じています。

最後に三つ目は、プライベートで沢山の場所へ行ったことです。勉強や大学での活動も大事ですが、沢山の経験をするために遊ぶことも大事であると今も実感しています。そのおかげで今の仕事に活かせる事も多くありますし、何より心から大学生活が楽しかったと感じています。

これら三つの事が四年間の大学生活を振り返って印象に残っている事です。

【2】社会人になって思う事

今、社会人になって思う事は、やはり学生とは違って自分の行動に対する責任感をより感じています。学生の頃はまだ自分の好きな事を学んで、好きな事をやっていました。しかし、社会人になってからは、自分以外の誰かのために行動をすることが多くなりました。会社のため、家族のため、仕事の先輩や同期のためというより自分の取った行動一つ一つに責任をもって取り組んでいます。今後も大学時代に学んだことと、新しい知見を活かしてより活躍できる人材になれるように精進していきます。

【3】大学と後輩達へ

横浜商科大学の方々、改めて四年間大変お世話になりました。大学時代に学んだことは今後の仕事や生活にも活かす事ができると思うので、それを活かして今後活躍できる人材になっていきたいと思います。また、横浜商科大学の在校生の方たちに伝えたいことは、今は四年間という期間は長いと感じられるかもしれませんが、実際あっという間に過ぎてしまいます。一日一日を大切に沢山の事に挑戦すれば、社会に出てからその経験が大きな財産になると思います。何事にも全力で取り組んで全力で楽しんでください。

令和7年度 入学式

2025年4月3日(木)13時より横浜みなとみらいホール 大ホールにて挙行され、322名の商大生が生まれました。

同窓生23,000名の声を聞かせて！

祝 第50回 定期総会・懇親会のご案内

日頃より、同窓会活動にご理解・ご協力を賜り、心より感謝申し上げます。
さて、第50回定期総会・懇親会を下記の通り開催いたします。ご多忙とは存じますが、
是非ご出席いただきますようお願い方々ご案内申し上げます。

▼申込みはこちら

日　時：2025年11月1日(土)
定期総会　13：30～14：30　131教室
懇親会　15：00～17：00　531教室

場　所：**横浜商科大学つるみキャンパス**
横浜市鶴見区東寺尾４丁目11-1　[TEL] 045-571-3901

議　案：①2024年度　事業報告
②2024年度　決算報告 監査報告
③2025年度　事業計画(案)
④2025年度　予算(案)
⑤その他

会　費：8,000円　2025年3月・9月卒業の新会員は無料ご招待いたします

第17回 支部長会議
522教室にて午後12時より開催いたします。

編集後記

本来なら50周年のお祝いイベントの年ですが来年、大学60周年と合同でイベントを開催することになりました。楽しみは来年まで待ちましょう。私達には歳月を重ねながら築いてきた絆があります。それが支えに同窓会活動は成り立っているのです…。相次ぐ災害で復興から「日常」に戻れない皆さま方には心よりお見舞い申し上げます。心折れることのないよう祈るばかりです。
※会報54号にご協力いただきありがとうございました。この会報はHPに10年間掲載されますことをご了承お願いします。
―紀―

■同窓会事務局
月・火・木・金 午前9時30分～午後4時
〒230-8577　横浜市鶴見区東寺尾4-11-1
TEL/FAX 045-583-9031(直通)
E-mail dousou@shodai.ac.jp
URL http://www.shodai-ob.com/

※事務局に田村さんが入られました。清水さん、小田さん共々よろしくお願いいたします。(素敵な女性３人です。是非同窓会事務局にお立ち寄りください)